「地方区」から「全国区」へ

デビュー一年　伸びるか松山千春

昨年一月二十五日に「旅立ち」でデビューした松山千春は、一年後のその日に「ことしもよろしく'78」と銘うって札幌市民会館で新春コンサートをひらきました。

この日は東京各紙の芸能担当記者やカメラマンが空路大挙来札して取材にあたりましたが、そのトップを切ってスポーツニッポンの二十九日付で「道産子のヶアイドルシンガー＝松山千春ヶ全国区ヶへ挑戦、話題のギター一本、美しい声の歌国白いオンナベリ」という六段抜きの見出しに舞台姿やファンにとりかこまれている写真も入れて。

北海道の女子中学生、高校生の間では、知らない者はないというほどのシンガー・ソングライターだ、所属のキャニオン・レコードでは道内の人気を全国的なものにと売り出しを開始、三十日の熊本を皮切りに六月まで全国三十六カ所のコンサート・ツアーで実力を試すことになった、札幌市民会館、収容人員千七百名のところに千九百人が入った、入場券を買えずにモニターテレビを見ているファンもいる、松山がステージに登場したダブダブのズボンにシャツとラフなかっこう、からだはバスケットで鍛えただけに筋肉質でやわらかそう、デビュー曲「旅立ち」で始まったコンサートは、なごやかな笑いと興奮、それにまじめさがあふれていた、ヶ回春もんヶと自らいい、都会っ子のファンをいい気持にさせておいてヶでもなあ故郷はいいもんだよヶと切り返してから、おもむろに青い空や美しい恋人の歌を歌う、素見がちな少女達にはこんなテンポがまつすぐに伝わる、松山の曲はすべて、あなたと私の世界、そこに時たまきれいな自然が顔を出す、「旅立ち」「かざぐるま」「時のいたずら」などみんなそうだ、吉田拓郎が、井上陽水が、小椋佳が歌つて来た世界だ違う点はひとつ、歌え方が誰よりも直接的なことである

などと会場のもようをくわしく伝えながら

「ある面では、すでに北海道から全国的になりつつある、これを続けていきたい」（キャニオン）二枚目のLP「こんな夜は」が初回の発売で三万五千枚という、北海道地区だけの数字だ、新人のLPの場合、全国で一万枚売れれば上出来で二万枚売れたらヒットになる、キャニオンに色気が出るのも無理はない、東京に松山専門のプロモート事務所まで作った、全国ツアーに始まる松山の売出し計画は、ツアーの成否がすべてを決めるといえそうだ、東京での初日見得は四月十九日、厚生年金ホールになると騒んでいます。

まるで衆議院選挙の候補者が地方区から全国区へうつるようなとりあげぶりですが、果してそれに千春が応えられるかどうかです。

第二の旅立ち

昨年十月で毎週日曜日のSTVのサン・ジャン「千春のひとりうた」をおりてニッポン放送の「オールナイト・ニッポン」へ進出してからは、千春は遠い存在になつた、東京の芸能人になつてしまうのではなかろうか、淋しい、といったお便りが多くなりましたが、STVの「アタック・ヤング」は深夜放送のため本州方面でもかなりきかれており、それに「オールナイト」が加わつたので、たとえば愛知県豊橋市の5・Kさんのように

千春くんのする話にはいつも悲しみや楽しさや夢がたくさんあつてすばらしいです、でもただひとつ悲しいことがありますそれは、オレはやつぱり北海道で歌つてるというのをきいてなんだか淋しかつたです、私は北海道のファンの人達に負けずに応援しますから今年こそはこちらのコンサートへも来て下さいというお便りがふえるようになりました。

レコードやラジオばかりでなく千春の生の歌とオシャベリをきかせたいーというご要望にこたえて全国ツアーに引つ張り出されたわけですが、姿をみせればファンもふえる、それにともなつてレコードも売れるーという商業ベースに乗らざるを得ないものの、千春はあくまでも北海道のローカル歌手としてや国へヶ出かせぎヶにスタートする第二の旅立ちとなります。

室の読者

北海道のみのローカルスターにとどまらず、今や全国的に名が上がつていますものと。

恩えば、千春くんが、全国フォーク音楽祭北海道地区大会に出場したあの年！私が高二の五月でした。

あの時は、私の雲するヶチルーリップヶがゲスト出演すると言うことで、友達と誘り切つて行きました。

あの時は資金ながら、千春くん客選でしたが！覚えてますハーレムバンド！ニツカポツカなどと今吹き抜けるヶです。

今になれば、昨年の三月十日のことは、笑つて話せますが、あの時はもう大変でした。

松山千春の街うヶ旅立ちヶは私にとつて、忘れられない思い出のひとつに、なつていますです。

私思いますよ、生意気かもしれませんが、千春くんはいつまでも、北海道を歌い続けるシンガーソングライターであつて欲しいと、ローカルスターのみで、とどまれと言うのではなく、もちろん東京、大阪と、千春メロディーが広まるのはよいことです。

ただ、基盤のいろに染つたり、背のびしてはしくないんです、彼のもつ自然の味を、見うしなつてほしくないんです。

北海道の大地を消えるのは、涙のみなんですから。

北海道出身の先輩格に、ヶふきのとうヶがいますね彼らのメロディーラインも、すてきです。

彼らは北海道の叙情は消えます、しかし北海道の大地は、消えません。

彼らの場合、そんな意味では、ファーストアルバムで出し尽くしてますし……彼らがよく言うんです。ヶ東京では歌が作れないヶと確かにそうでしよう……道産子のふきのとうですからと……でも私、そんなのナンセンスだつて思いますよあのーやつぱり故ら、北海道のふきのとう！だなーつて甘んじていいのかなんて……ふきのとうのファンが……東京へ出ていつたふきのとうなら、その暮らしの中で、季節を見つけてほしいんです。

だから千春くんに、そんな意味で、がんばつてほしいと思つてます。

例のヶ大空と大地の中でヶ……ヶあれはいいですよヶ（千歳の日・Mさん）

★　★

この間の深夜放送、初めてお聞きしました。

ユーモアのある人で、やさしくて、ちよつぴりてれ屋さんで、とつても男らしくて、自然を大事にしてる人なんですよ。

今時、ふるさとの事大事にしている人は、あまり少ないんじやないかしら。

千春様は、家の周囲の男性なの。

あと千春様の歌は、ヶかざぐるまヶ旅立ちヶ時のいたずらヶなんかは、ほんとうにすばらしい歌ばかり。

旅立ちつて歌は、たけだ さんのために作つた、感んじがします。

感じがします。

感じがしますが、なくてはならない歌ですよ。

（宮城県のT・Hさん）

泣いているんだけど、強がりつて感んじします。

時のいたずらはとてもうズルカルの曲で、詩もすてきです。

千春様は、すごく北海道で歌つて行きたいつて、言つていたので。

私思いますよ、生意気かもしれませんが、千春くんはいつまでも、北海道を歌い続けるシンガーソングライターであつて欲しいと、ローカルスターのみで、とどまれと言うのではなく、もちろん東京、大阪と、千春メロディーが広まるのはよいことです。

ただ、基盤のいろに染つたり、背のびしてはしくないんです、彼のもつ自然の味を、見うしなつてほしくないんです。

北海道の大地を消えるのは、涙のみなんですから。

北海道出身の先輩格に、ヶふきのとうヶがいますね彼らのメロディーラインも、すてきです。

彼らは北海道の叙情は消えます、しかし北海道の大地は、消えません。

彼らの場合、そんな意味では、ファーストアルバムで出し尽くしてますし……彼らがよく言うんです。ヶ東京では歌が作れないヶと確かにそうでしよう……道産子のふきのとうですからと……でも私、そんなのナンセンスだつて思いますよあのーやつぱり故ら、北海道のふきのとう！だなーつて甘んじていいのかなんて……ふきのとうのファンが……東京へ出ていつたふきのとうなら、その暮らしの中で、季節を見つけてほしいんです。

だから千春くんに、そんな意味で、がんばつてほしいと思つてます。

例のヶ大空と大地の中でヶ……ヶあれはいいですよヶ（千歳の日・Mさん）

★　★

この間の深夜放送、初めてお聞きしました。

ユーモアのある人で、やさしくて、ちよつぴりてれ屋さんで、とつても男らしくて、自然を大事にしてる人なんですよ。

今時、ふるさとの事大事にしている人は、あまり少ないんじやないかしら。

千春様は、家の周囲の男性なの。

あと千春様の歌は、ヶかざぐるまヶ旅立ちヶ時のいたずらヶなんかは、ほんとうにすばらしい歌ばかり。

旅立ちつて歌は、たけだ さんのために作つた、感んじがします。

感じがしますが、なくてはならない歌ですよ。

（宮城県のT・Hさん）

主筆の室

○…前号のこの欄で書いた千春の写真やサインについてお問合せが多いのでまとめてお答えします。

○…たとえば8号のようにズルカルの曲で「千春」事は「札幌中島スポーツセンター」（うしろに南沙織や堀内孝雄など）、下は「明人と光里」（つまり千春の弟とオイ）など本紙に掲載の写真をご希望の方に一枚百円でお分けしています。

○…これまで二十種類を掲載してきましたので（その一部を一冊に掲載）ご希望の方は郵便小為替を同封のうえお申込み下さい。

○…ご遠方でなかなか千春のサインを得られ難い方のために、本社へ色紙なりハンカチーフなりお送りになれば、千春が暇をみてサインしてお返しますが、日数のかかることをご諒承下さい。

○…昨年の仙台宇山形の場合もそうでしたが、このたびの札幌コンサートでも遠く東京なり宮崎なり他の千春のお父さんへとの電話がかかつてきてとてもよいコンサートだつた、感激した、といつて、方面でもかなりきかれており、それに「オールナイト」が加わつたので、たとえば愛知県豊橋市の5・Kさんのように

千春くんのする話にはいつも悲しみや楽しさや夢がたくさんあつてすばらしいです、でもただひとつ悲しいことがありますそれは、オレはやつぱり北海道で歌つてるというのをきいてなんだか淋しかつたです、私は北海道のファンの人達に負けずに応援しますから今年こそはこちらのコンサートへも来て下さいというお便りがふえるようになりました。

レコードやラジオばかりでなく千春の生の歌とオシャベリをきかせたいーというご要望にこたえて全国ツアーに引つ張り出されたわけですが、姿をみせればファンもふえる、それにともなつてレコードも売れるーという商業ベースに乗らざるを得ないものの、千春はあくまでも北海道のローカル歌手としてや国へヶ出かせぎヶにスタートする第二の旅立ちとなります。

（本紙「千春特集号」は月二回発行、一カ年送料とも二千円、購読ご希望の方は郵便小為替同封お申込み下さい）